

2015.10.17 (土)

大阪大学外国語学部 デンマーク語学科 50周年記念祝賀会

このたびは、大阪大学外国語学部デンマーク語専攻 50周年記念祝賀会に多くの関係機関の皆様にご列席いただき、厚く御礼申し上げます。

開催にあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

私は、デンマークと聞きますと、19世紀に活躍した二人の偉人を直ちに思い浮かべます。一人は、実存主義の創始者、またはその先駆けと評価されているSøren Aabye Kierkegaardあり、もう一人は、童話作家、詩人で世界的に名高いHans Christian Andersenです。

特に、Kierkegaardについては、彼の哲学に関する研究が大阪大学外国語学部デンマーク語学科の創設に深い関係があることを伺った時、「言語」の研究はすなわち「文化」の研究に通じるものと感じ、一層感慨深いものがあります。

お二人の偉人の思索ベースとしてのデンマーク語とはどのような「言語」であるのか。それは、私にとりまして興味のないところではあります。

また、私の研究分野は情報通信技術(ICT)ですが、デンマークはICT分野においても我々が学ぶべきことの多い国です。例えば、利用者の立場に立ったICT関連のモノ作りによるイノベーション創出を指向し、国際競争力の特段高い国であることが経済協力開発機構(OECD)による調査などでも明らかにされてきました。また、ICTを初等中等教育に徹底的に導入し、しかも非常に教育効果を挙げた先駆的な国でも知られております。

このような素晴らしい国であるデンマークの言語と文化を学ぶことができる学科として、国立大学唯一のデンマーク語学科が大阪外国語大学に創設されてから50年を迎えることができました。この50周年を機会にさらに教育と研究を充実させ有為の人材を育てていかれることを期待しております。

創設期から今日に至るまで多くの関係機関の皆様方にご支援いただきましたこと改めて深甚なる感謝の意を表します。

ご承知のように現代社会はインターネットの普及とともに、地球間は急速に狭くなりグローバル化は加速度的に進展しています。大阪大学は引き続き、世界中から志ある若者が集い、学び、そして世界へ飛翔していく学問の府として、21世紀のグローバル社会に大きく貢献してまいります。

本日ご列席いただいております皆様方には、これまでのご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも引き続きのご支援をお願い申し上げます。